

ジビエ需要拡大を下支えする支援策

全国段階の取組を支援〈農林水産省〉

- ジビエ利活用の関係者からなる全国段階のコンソーシアムによる、全国的な需要拡大のための情報提供や広報PR等の以下の取組を支援。

H28新規予算

消費者ニーズ
の把握・展開

肉の取扱ルール
等の情報提供

関係者間の
情報共有

利活用推進
に向けた
情報発信

【鳥獣被害防止総合対策交付金】補助率：定額

28年度スタート！

地域段階の取組を支援〈内閣府〉

- 自治体と多様な分野の事業者が連携し、地域資源としてのジビエ利活用推進のための体制整備を行い、捕獲から加工・流通・販売までを行うような、自立を目指した先駆的取組を支援。

H28新規予算

体制整備

商品開発

ブランド化

マーケティング
販路開拓

【新型交付金（地方創生推進交付金）】補助率：1/2以内

地財措置もつきます！

関連する支援策〈関係省庁〉

- 捕獲経費支援（一頭当たり上限8000円）
- 捕獲者育成の研修や、わな導入経費支援など（補助率1/2以内・定額）
- ジビエ利活用を推進するため、
処理加工施設の整備・改修や処理加工施設への運搬経費支援（補助率1/2以内・定額）
【鳥獣被害防止総合対策交付金】（農林水産省）
- 6次産業化支援 【6次産業化ネットワーク活動交付金】（農林水産省）
- 野生鳥獣由来食肉の安全性確保に関する研究（厚生労働省）

10

終わりに

増加する**捕獲鳥獣**を**地域資源**としてとらえ、
ジビエとして有効活用。
これは、野生生物の尊厳を守る取り組みともいえる。

国産ジビエ流通は、既存の大きな枠組みはない。
関係者が情報共有し、連携することで、
短期間でシステム構築できる可能性。

サミット参加者が連携し、川上（捕獲）から川下（消費）に
至る**サプライチェーンの構築**が実現できることを期待。